



2学期のスタートにあたって

夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まりました。生徒たちは、大きな事故やけがもなくそれぞれにとって充実した夏休みを過ごすことができたようです。このように安全に夏を乗り越えられたのは保護者の皆様の温かな見守りおかげです。心より感謝申し上げます。

2学期は、学習活動はもちろん学校行事も多く、中学校生活の中でも最も充実した学期です。たとえば、学年ごとの行事では、2年生の修学旅行、全校で取り組む合唱コンクール、そして持久走大会など、生徒が力を合わせて取り組む場面が数多くあります。これらの活動を通して協調性や責任感、自分自身と向き合う力を育むことができる貴重な機会です。

私たち教職員も、生徒一人ひとりが安心して挑戦できる環境づくりに努め、日々の成長をしつかりと支えてまいります。

今学期もどうぞよろしくお願いいたします。

地域未来塾 夏の活動報告

夏休み中、地域未来塾では、高校生や小学生と一緒に様々な体験活動が行われました。

○7/30 お菓子作り体験（天草拓心高校マリン校舎）

高校生と楽しくお菓子作りをしました。

○8/25 サップ体験（富岡海水浴場）

SUP（サップ）を楽しみました。

○8/28 交流料理教室（志岐小学校）

小学生と料理を通して交流しました。

●生徒たちは、普段できない体験や異年齢との交流を通じて、とても満足していました。

関係者の皆さん、ご協力ありがとうございました

秋の交通安全運動

9/21（日）から9/30（火）まで、秋の交通安全運動が実施されます。日没が早まり、交通事故が増える時期です。

生徒の皆さんには、道路を渡るときは必ず左右を確認し、自転車に乗る際はヘルメットを着用しましょう。また、夜間はライト点灯を忘れず、交通事故の防止に努めましょう。

保護者の皆様には、ご家庭で交通ルールの大切さをお子様と再確認していただけるようお願いします。地域全体で子供たちの安全を守るために、ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。



お菓子作り体験



SUP（サップ）体験



交流料理教室

「異文化とふれあって考えたこと」～ホームステイから広がった学び～

この夏、私の家庭でカリフォルニア大学と九州大学の学生2人を2泊3日のホームステイで受け入れました。カリフォルニア大学のMaxwelさんは、肉や魚、卵や乳製品など動物性の食品を一切とらない食生活をしている方でした。

彼がビーガンになった理由の一つに「地球温暖化など環境への影響を減らしたい」という思いがあり、食の選択が環境問題と深くつながっていることに私も考えさせられました。一方、九州大学の田中さんは農学部で日本の伝統食や地域ごとの食材について学んでおり、2人は異なる視点から「食」について語り合っていました。まさに「多様性と学び」が交差する貴重な時間でした。また、英語でのコミュニケーションも大切な経験で、完璧な英語でなくても気持ちや思いがしっかりと伝わることを実感しました。この体験から、グローバル化は遠い世界の話ではなく私たちの暮らしのすぐそばにあることを改めて感じました。これからの社会では、異なる文化や考え方を理解し尊重する姿勢、人権感覚がますます重要になると強く感じました。

九州大学4年生
田中 遼奈さんカリフォルニア
大学4年生
Maxwellさん

